

沖縄県南城市でリーサスを活用した政策立案ワークショップを開催しました

平成28年9月
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府沖縄総合事務局経済産業部

沖縄県南城市にて、観光や農業政策に携わる職員を対象に、「地域経済分析システム（RESAS）」を活用した政策立案ワークショップを下記の通り開催しました。観光分野の専門家である公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部 山田 雄一次長の参加を得て、南城市の課題が見える化し、密な意見交換を通じ、職員が地域経済分析に加えてマーケティングの視点を取り入れた政策を企画・立案すること等の重要性を考える契機となりました。

記

1. テーマ : 「観光・農業」

- (1) 地域の観光資源を活かした観光ルートの検討
- (2) 会議施設を活用下地域活性化 ～観光施策を出口として～
- (3) 農水産物の高付加価値化 ～観光関連産業との連携のあり方～

2. 日時場所 : 平成28年8月4日(木)

南城市役所(玉城庁舎)2階 ホール

3. 主催 : 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

共催 : 内閣府沖縄総合事務局経済産業部

4. 参加者 :

- ・南城市職員(観光商工課、産業振興課、政策調整課)
- ・公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部 次長 山田雄一氏
- ・内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局職員
- ・経済産業省地域経済産業グループ職員
- ・内閣府沖縄総合事務局経済産業部職員

5. 議事次第

- ① 自治体職員によるリーサス分析結果発表
- ② 有識者によるリーサス分析結果発表
- ③ 政策ディスカッション

1. ワークショップ実施の背景

- 南城市は、様々な観光資源があり、年間約200万人が訪れている地域だが、市内には宿泊先が少なく、県外からの観光客の多くは那覇市での宿泊となっている。
- 通過型観光がメインで滞在型観光が少ないことから、地域の農業をはじめ、その他の産業への波及効果が課題となっている。
- そこで、リーサスや他の統計データを活用した分析によって南城市の観光関連産業や農業を客観的にとらえ、地域により波及する産業政策のあり方についてディスカッションを実施した。

2. 議論のポイント・得られた結論・今後の展開

- リーサスの目的地分析や実際の入込客数の把握により、南城市では「おきなわワールド」や「斎場御嶽」を目的とした観光客が圧倒的に多く、集客力を有していることが分かった。
- 産業面では企業数、従業者数において「飲食店」「食料品製造業」が上位を占めることから雇用の受け皿となっている。また、売上高、付加価値額も高い。しかし、特化係数から「飲食店」「食料品製造業」ともに労働生産性が低い。
- 南城市内の「食料品製造業」の多くは自社での原料調達を行っており、リーサス上での域内仕入れが見られない。「飲食店」、「宿泊業」においては域外取引が多く域内取引はわずかである。
- 南城市の農業は、県内でも販売金額の上位に位置し、他産業への影響力も大きい主要産業である。「養鶏」「酪農」「養豚」があり「施設野菜」の販売金額も上位であるが販売金額（総額）は2005年から減少傾向である。
- 各部門別販売金額では、「酪農」、「花卉・花木」、「果樹」など多くの部門の減少が見られるが、「その他の作物」、「その他の畜産」では増加している。「施設野菜」の販売金額は上位だが、「露地野菜」も上位に位置し割合も高い。台風等の自然災害の影響を受けている状況であり、「天候任せの農業」からの脱却を図る必要がある。
- 複数の課題がある中で、まずは課題設定の明確化を行い、取り組んでいく必要がある。特に、客層のターゲティングとそれ合わせたプロモーションを展開するといったマーケティングの視点は重要。
- 食料品製造を主体とした製造業のシェアが高めであり、それと連動するようにカフェが複数立地し人気を集めるようになってきていることから食品製造業の製品を土産品としてブランド化しカフェと連携させていくことが重要である。
- 集客力を持つ観光施設が豊富である反面、そのために地域イメージが分散している状況である。地域イメージを紡ぐ「ストーリー」を検討し、埋め込んでいくこと大事であり、それにより時間消費（コト消費）の日帰り場所として伸長され、産業振興へのレバレッジが効く方向だと考えられる。
- 南城市近隣に新たに建設される大型MICE施設に付加価値（ユニーク・ベニュー）を提供できる体制を作り上げていくことで、集客の拡大に繋がり、更なる発展の可能性がある。

【参考資料】自治体職員によるリーサス分析内容

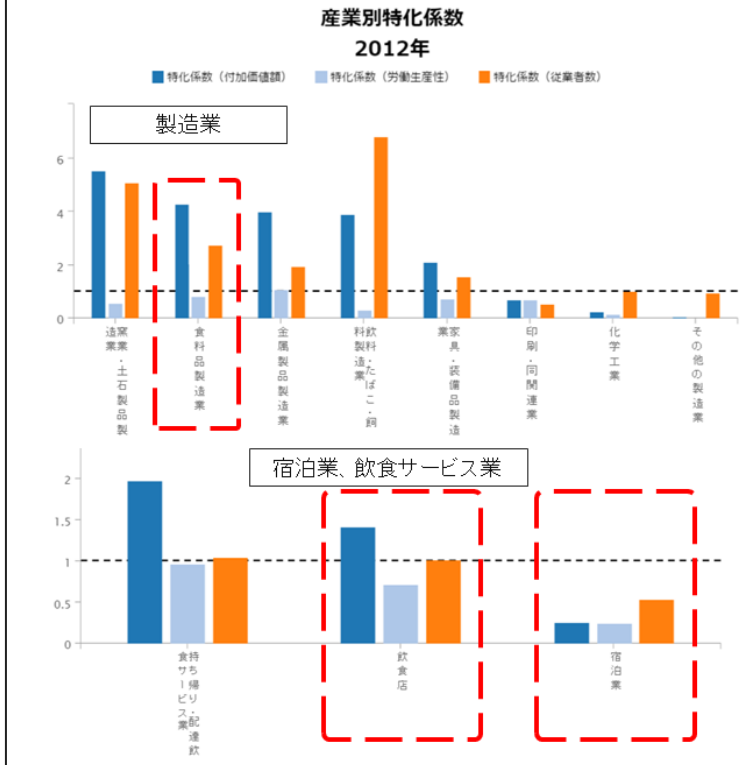
1. 南城市における観光 — 沖縄県全体の目的地検索回数



・休日では7番目に「okinawaワールド」があるが、「沖縄ワールド」との検索回数を合計すると「万座毛」に次ぐ4番目になる。「斎場御嶽」も8番目に見られる。

・平日でも同様に「okinawaワールド」と「沖縄ワールド」との検索回数を合計すると「首里城」に次いで3番目となる。また「斎場御嶽」も10番目に見られる。

2. 南城市における観光関連産業の現状 — 産業別特化係数



・特化係数(付加価値額)を見ると、「食料製造品業」は1を上回っている。

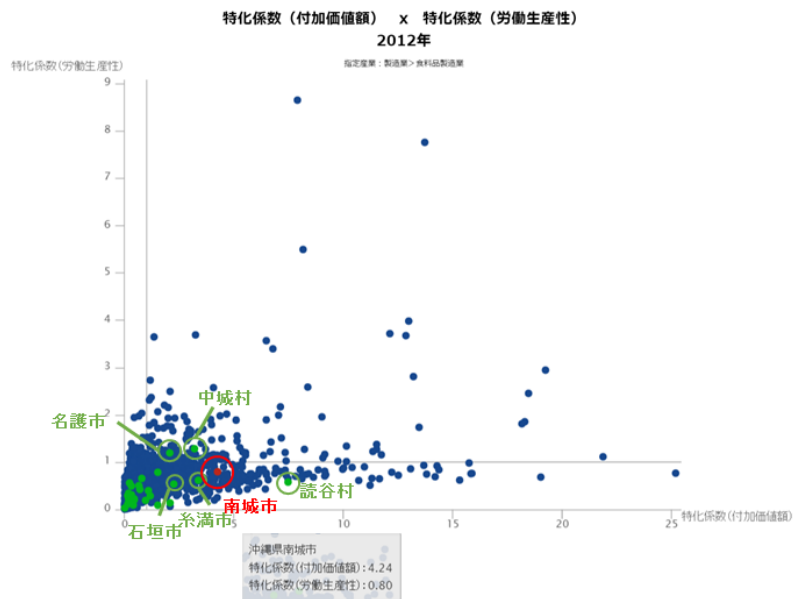
・製造業のうちでは2番目に高く、域内の他の業種と比較して高い。

・労働生産性については1を下回っている。

・特化係数(付加価値額)を見ると、「飲食店」は1を上回っている。

・宿泊業については1を下回っている。

2. 南城市における観光関連産業の現状 — 産業別特化係数「食料品製造業」



- ・「食料品製造業」の特化係数散布図で見ると、付加価値額については1を上回っているが、労働生産性では1を下回っている。
- ・県内市町村で比較すると中城村、名護市が付加価値額、労働生産性ともに1を上回っている。

26

3. 南城市における農畜水産業の現状 — 農産物販売金額(市内部門別)

2005年					2010年						
販売金額 (万円)	順位	1位	2位	3位	販売金額 (万円)	順位	1位	2位	3位		
農業収入合計	5	424875	宮古島市	石垣市	うるま市	農業収入合計	3	331200	宮古島市	石垣市	南城市
酪農	1	99650	南城市	南風原町	八重瀬町	養鶏	1	84600	南城市	那覇市	名護市
養鶏	3	89410	名護市	南風原町	南城市	酪農	1	65360	南城市	八重瀬町	沖縄市
施設野菜	1	53900	南城市	宮古島市	今帰仁村	施設野菜	1	44800	南城市	宮古島市	今帰仁村
花き・花木	11	40520	今帰仁村	伊江村	うるま市	工芸農作物	10	37455	宮古島市	伊江村	久米島町
工芸農作物	10	40175	宮古島市	石垣市	伊江村	養豚	5	25940	八重瀬町	国頭村	宜野座村
養豚	5	32030	八重瀬町	国頭村	うるま市	露地野菜	3	25305	豊見城市	糸満市	南城市
露地野菜	3	30590	名護市	豊見城市	南城市	花き・花木	17	10125	伊江村	今帰仁村	うるま市
肉用牛	13	10030	石垣市	宮古島市	伊江村	その他の作物	2	7500	名護市	南城市	糸満市
果樹類	11	9310	国頭村	名護市	宮古島市	肉用牛	15	7105	石垣市	宮古島市	本部町
その他の畜産	3	1275	沖縄市	西原町	南城市	果樹類	14	4975	宮古島市	名護市	国頭村
雑穀・いも類・豆類	16	105	宜野座村	宮古島市	北大東村	その他の畜産	3	2725	沖縄市	今帰仁村	南城市
その他の作物	14	100	今帰仁村	名護市	うるま市	雑穀・いも類・豆類	19	75	名護市	宜野座村	宮古島市

※RESASデータを加工、南城市近隣市町については太字で示した。

- ・南城市の部門別の県内順位を見ると、販売金額の高い「養鶏」、「酪農」、「施設野菜」については県内1位であることがわかる。

39

以上